



# 俳句ゆめクラブ会報

2023年4月25日

第 154 号

襟元に吹く風のふれ桜散る

鈴木幸恵

少し前は気温が上がって暑い位だったのにこの数日は涼しい日が続く、デコボコ陽気に振り回されるがこれも今の季節の特徴かも、とまあ納得。それでも若葉青葉の美しい頃、本格的に暑くなる前に今の季節をせいでい楽しもう。

報道によると戦闘の続くスーダンから避難希望の邦人が自衛隊機で脱出とのことでよかったが、何もできぬ現地の人達を気の毒に思う。  
句会は11名全員で兼題は「春惜しむ」であった。

## 「句会」県活202号セミナー室

13時〜14時40分

### 梅田先生の句

湯上りのやうな艶見せ八重桜  
リラ冷えや門扉に猛犬注意札  
変はりなき筑波嶺に春惜しみけり

### 梅田先生選

#### 《特選》

一面のつつじ山いま真つ盛り  
ふる里のまた無人駅春惜しむ  
雨音のかくもしめやか春惜しむ  
木洩れ日の輝きを増し柿若葉  
田起しや見沼用水水走り

瀬戸川公子  
浅見法子  
吉野利美子  
宮島昭夫  
岩松忠子

日曜の朝は穏やか梨の花  
惜春や背中丸めて行くふたり  
渾身の思ひをぶつけ猫の恋  
仰ぎ見る真白き富士に春惜しむ  
また今日も走る道沿ひ麦青し  
日本海望む湯に入り春惜しむ

小林健一郎  
岩松忠子  
小林健一郎  
八千代幸男  
吉野利美子  
宮島昭夫

《入選》  
ホーホケキョ我口笛で鳴き混り  
緑濃き大木を背に農の家  
チューリップ赤白黄色競ひ合ふ  
埼玉の未来明るし桜草  
明日への期待の多く春惜しむ  
風光る自転車乗りのヘルメット  
搔ひ堀りの池に水張り春日満つ  
沈みゆく夕日やはらか春惜しむ  
新緑の山肌波のごとくゆれ  
一頻り落花ありけり夢の中  
見る人に笑顔を恵むチューリップ  
久々に喧騒の中春惜しむ  
木香薔薇今にもこぼれ落ちさうに  
木々の影濃さを増しゆき春惜しむ  
春惜しみ北へと向かふ旅心  
雉の雌木綿まとふてある如し  
花吹雪凱旋パレードのごときかな  
逆光になほ艶増して藤の花

宮島昭夫  
長澤輝子  
八千代幸男  
八千代幸男  
瀬戸川公子  
岡田時雄  
岡田時雄  
小林健一郎  
鈴木幸恵  
岩松忠子  
長澤輝子  
長澤輝子  
浅見法子  
岡田時雄  
鈴木幸恵  
吉野利美子  
浅見法子  
瀬戸川公子

### 互選

風光る自転車乗りのヘルメット (4票) 岡田時雄  
ふる里にまた無人駅春惜しむ (4票) 浅見法子  
リラ冷えや門扉に猛犬注意札 (5票) 梅田ひろし  
久々に喧騒の中春惜しむ (3票) 長澤輝子  
日曜の朝は穏やか梨の花 (4票) 小林健一郎  
惜春や背中丸めて行く二人 (3票) 岩松忠子  
今生の思ひをぶつけ猫の恋 (4票) 小林健一郎

### 「決定事項・連絡事項」

・次回吟行 5月23日(火)

### 伊奈バラ園及びその近辺

バラ園入り口に10時集合

・食事場所はいずれも予約できない為に各自自由  
付近の店なり持参なりで済ませること。

・句会は県活の202号室で13時より。

(当番・吟行担当 浅見)

尚、幹事よりの吟行案内を添付しますので参照して  
下さい。

・今回は11名全員出席

(小林健一郎記)

(了)